

地域の伝統的な食文化の保護・継承手法の実態調査及び「手引き」の作成方針について 資料4

■ 調査の目的

- 地域の伝統的な食文化の保護・継承手法の実態調査及び有識者による食育施策の検討の結果を踏まえ、効果的な手法を整理した推進指針をとりまとめ、地域で食文化の保護・継承に向けた食育活動を推進する際の手引きとして活用できるガイドブックを作成する。

Step1

調査設計の検討
(5月:第1回検討会)

手引きの作成方針の検討

- 手引きの骨子案
- 調査対象

Step2

調査状況の報告
(6月:第2回検討会)

手引きの進捗状況の報告

- 調査対象等、決定事項について報告

Step3

調査状況の報告
(11月:第3回検討会)

現地調査報告、
手引き(案)の検討

- 現地調査の結果について報告
- 現地調査結果を踏まえた手引き(案)について検討

Step4

手引きの最終確認
(2月:第4回検討会)

手引きの最終確認

- 中間とりまとめにおける議論を踏まえて修正した手引きの最終確認

地域の伝統的な食文化の保護・継承手法の実態調査及び「手引き」の作成方針について

1. 手引きの対象者（読み手）

- 今後、地域の伝統的な食文化の保護・継承に係る取組を行う者

2. 主旨

- 地域の伝統的食文化の“保護・継承”の成功のための取組の手法とその手順を紹介し、食文化の保護・継承の一助としていただく。
- なお、「保護・継承」の成功とは、次の世代（若い世代）につながる事が担保されていることとする。

3. 手引きの骨子案（計48ページ）

- 表紙（2ページ）
- はじめに ～食文化の保護・継承に対して食育が果たす役割～（1ページ）
- 目次（1ページ）
- 手引の使い方（1ページ）
- チェックリスト（4ページ）
 - ※ 取組のパターン化（e.g. 学校型、料理教室型、地域投資型）と要改善箇所の明確化
- 成功のカギと具体的手法・手順（パターン別）（30ページ）
 - ※ 現地調査により収集した取組事例を基に整理（e.g. 行政の巻き込み方、広報の手法）
 - ※ チェックリストで整理された要改善箇所の対処方法等
- 具体的な取組の事例集（5ページ（半ページ程度×10カ所））
 - ※ 取組概要、取組主体、参加者、発生した問題点とその改善方法、工夫点等を現地調査の上記載
- おわりに（2ページ）
- 裏表紙（2ページ）